

令和7年（2025年）7月



横須賀市立田浦中学校

家庭学習のしおり

年間指導計画



〇はじめに

田浦中学校では、学校教育目標を次の通り掲げ、日々の教育活動を行っています。

学校教育目標 ”たたくましく、心豊かに”

～自他共栄のため 考え、判断し、行動する～

健康	健康な体、粘り強い実践、明るい挨拶
協調	心豊かな人間性、社会性、協力と責任
学び	基礎基本の習得、思考力、判断力、表現力、創造性の育成

学校での学びにおいて、各教科での様々な学習活動が行われていますが、こと学力に関しては学校だけの勉強で一朝一夕に身につくものではありません。帰宅後の家庭学習等も含め、日々の積み重ねが時間をかけて少しずつお子さまの力を育てていくものと理解しています。

本冊子では、お子さまのご家庭での学習習慣づくりのために、保護者の方をはじめ、周囲の方々がどのように関わればよいかをまとめたものです。家庭で取り組める学習内容や学習時間の目安のほか、家庭で大切にしたいポイント等をまとめました。

家庭での学習習慣の形成のために役立てていただき、家庭でのお子さまへの学習支援の参考としてご活用いただければ幸いです。

2年生

《 目指したい学習習慣 》

～ 予習・復習と計画的な学習習慣 ～

✎家庭学習時間のめやす：80分

○この時期の特長

ときには大人の言うことに素直になれず、良くも悪くも仲間や友達の影響を強く受けます。そして他人から見た自分を意識し、比べて落ち込んだり、無理に合わせようとしたりします。いわゆる「思春期」真っ只中です。中学校生活を有意義に過ごすためには、部活動などとの両立が大切です。

○家庭で大切にしていきたいこと

①学習環境を整えさせましょう

部屋や机の上などは常に整頓するなど、学習への切り替えがすぐにできるように考えさせましょう。学習内容の定着に結び付きます。

②学習習慣や方法を身に付けさせましょう

予習・復習を学習の基本とさせましょう。また、時間を有効に使えるよう、目標を持ち、集中して学習にできるようにさせましょう。

③子どもの成長を見守りましょう

心身ともに急速に成長する時期です。学ぶときの意味や学び続けることの大切さについて話す機会をもちましょう。

○生徒へのワンポイントアドバイス

【国語】漢字などはこまめに復習して覚えましょう。意味の分からない語句は辞書で調べましょう。

テーマや構成を決めて、文章を書く練習をしましょう。文章を書く力は国語以外の授業（道徳、総合的な学習の時間等の振り返り等）でも伸ばすことができます。一つひとつの機会を大切にしましょう。

視野を広げるためにも、いろいろなジャンルの本を読んでみましょう。

【社会】地図や年表等に親しみ、内容の理解に努めるようにしましょう。

【数学】計算問題では、必ず途中式を書き、確実にこなせるようにしましょう。

考え方を図などで表すようにしましょう。

【理科】授業で学習したことをまとめたり整理したりし、ノートづくりを工夫しましょう。

【英語】新出語と基本文は声に出したり書いたりして覚えましょう。

分からない部分を動画資料等で確認するなど、学習方法にひと工夫をしてみましょう。

【定期テスト】無理のない学習計画を立てて取り組みましょう。そのためにも 早めに取り組むことが大切です。授業でのノートやプリントなどをもとに、自分なりにもう一度まとめてみましょう。

家庭学習を習慣化させるためのポイント

1. 生活のリズムを整える

規則正しい生活リズムが日々の子どもの生活を整え、家庭学習の習慣化につながります。あたりまえのことですが、早寝・早起きをする、朝食をきちんと食べる、テレビやゲーム、スマホなどの時間をきちんと決めましょう。

2. 読書をする時間を増やす

読書は子どもの感性を磨き、知識や思考の源となります。まずは、毎日子どもが読書をする時間をつくりましょう。また、地域の図書館に行き、本と出会う機会をつくりましょう。

3. 努力を認め励ます

一つのことには継続して取り組む、やや難しいことに挑戦する、そしてあきらめずにやり抜くことを経験させましょう。

子どもの学習に目を向け、必要な声かけや点検を行い、粘り強い努力を本気で褒めましょう。

4. 勉強しやすい環境をつくる

家族で過ごす時間を大事にし、子どもの話を定期的に聞きましょう。

ニュースなどで、興味のある内容だけでなく、様々な内容を話題に取り上げて、社会への関心を広げましょう。

保護者の方へ

～お子さまとこんなことができますか？チェック表～

- 子どもの夢や憧れについて知っている。
- 子どもの交友関係を知っている。
- 子どものクラス、担任・副担任の先生の名前を知っている。
- 子どもの登校・下校の時刻を知っている。
- 子どもの部活動の大会や学校の行事等を見に行ったことがある。
- 1週間に1回以上子どもを誉めている
- 子どもが今持っているお金の金額を知っている。
- 一日1回以上、子どもと一緒に食事をとっている。
- 子どもと、自分の生き方や仕事について語ったり話し合ったりしたことがある。
- 子どもの将来について話し合ったことがある。

2025年度・第2学年 国語科 年間指導計画及び評価計画

指導教諭：小川 彰朗

教科の到達目標	<p>(1) 社会生活に必要な国語の知識や技能を身に着けるとともに、我が国の言語文化に親しんだり理解したりすることができるようにする。</p> <p>(2) 筋道立てて考える力や豊かに感じたり想像したりする力を養い、日常生活における人とのかかわりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを確かなものに行うことができるようにする。</p> <p>(3) 言葉が持つ価値に気づくとともに、進んで読書をし、我が国の言語文化を大切に、思いや考えを伝え合おうとする態度を養う。</p>
---------	---

学期	期間	単元計画 ※授業期間は学習順	各観点の評価計画		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
前期	授業期間	1. 広がる学びへ(小説・古文他)	○漢字小テスト ○文法小テスト ・同音異義語と同訓異字 ・活用のない自立語に対する理解 ・敬語に対する理解 ・授業プリントの記述(誤字脱字, 文のねじれ等) ・作詩(詞)の表現技法 ・短歌の基礎, 表現技法 ・「手紙の書き方」の規則(宛名書き, 頭語と結語, 時候の挨拶等)	・授業プリント, ノートの記述内容(登場人物設定/「事実」と「意見」の読み分け等) ・詩の創作(口語自由詩の形式や表現技法を効果的に用いられているか等) ・短歌の創作(規則や技法を意識したものとなっているか) ・手紙の記述内容(文章構成等) ・ディスカッションの発言内容, 役割への取り組み	・振り返りシートの記述 ・テスト直し(振り返りを含む)
		2. 多様な視点から(報告・情報)			
		3. 言葉と向き合う(短歌・随筆・読書)			
		4. 人間のきずな(小説・随筆)			
		5. 文法・漢字・言葉			
		6. 暑中見舞い			
	定期テスト(中間・期末)	基礎的・応用的な内容の確認	基礎的・応用的な内容の確認	なし	
夏休み	既習事項の確認	○夏休みの課題内容に基づいた小テスト(漢字, 文法) ○夏休みの自由課題	なし	・夏休みの課題(自由課題を含む)	
後期	授業期間	1. 論理を捉えて(論説・詩・意見文)	○漢字小テスト ○文法小テスト ・類義語と対義語 ・活用のある自立語に対する理解 ・助詞, 助動詞に対する理解 ・古典作品の朗読 ・授業プリントの記述(誤字脱字, 文のねじれ等) ・意見文の基礎(段落構成, 主述の関係等) ・書初めの成果(楷書体と行書体の特徴を捉えているか等)	・授業プリント, ノートの記述内容(登場人物設定/「事実」と「意見」の読み分け等) ・意見文の執筆(根拠の適切さ, 説得力等) ・ディスカッションの発言内容, 役割への取り組み	・振り返りシートの記述 ・テスト直し(振り返りを含む)
		2. いにしえの心を訪ねる(古文・漢詩)			
		3. 価値を語る(評論・話し合い)			
		4. 表現を見つめる(小説・詩)			
		5. 文法・漢字・言葉			
		6. 書写			
	定期テスト(中間・期末)	基礎的・応用的な内容の確認	基礎的・応用的な内容の確認	なし	
冬休み	既習事項の確認	なし	なし	なし	

横断的学習(主なもの):

- ・職場体験のお礼の手紙(総合的な学習の時間)
- ・プレゼンテーション(総合的な学習の時間)
- ・書初め(美術)

授業前の取り組み(ベル学習):

- ・『学習漢字ノート』及び漢字小テストへの取り組み

家庭での学習への取り組み方について

【予習よりも復習を重視】

1. 学習中の単元の本文をすらすら読めることを目指して音読しよう。(10分)
 - ①最初は読めない漢字をなくしたり, 読みづらい言葉をスムーズに読めるまで何回か声に出して読むことから始めよう。
 - ②文章の内容が頭に入ってくるようになれば◎。
2. 授業があった日は教科書やノート, ワークシート等を見返して授業内容を振り返ろう。
3. (更に余裕がある人は)積極的に読書を楽しもう。自分の好きな本(小説でなくても活字で書かれたもの)なら大丈夫。

2025年度・第2学年 社会科 年間指導計画及び評価計画

指導教諭：高橋 健人

教科の到達目標	(1) 我が国の国土と歴史、現代の政治、経済、国際関係等に関して理解するとともに、調査や諸資料から様々な情報を効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。 (2) 社会的事象の意味や意義、特色や相互の関連を多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向けて選択・判断したりする力、思考・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。 (3) よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、我が国の国土や歴史に対する愛情、国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることの大切さについての自覚などを深める。
---------	---

学期	期間	単元計画 ※課業期間は学習順	各観点の評価計画		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
前期	課業期間	1.日本の地域的特色	・テスト直しレポート ・話し合い活動への参画	・授業内レポート ・話し合い活動への参画	・振り返りシート ・単元レポート
		2.日本の諸地域 九州			
		3.日本の諸地域 中国四国			
		4.日本の諸地域 近畿			
		5.日本の諸地域 中部			
		6.日本の諸地域 関東			
	定期テスト(中間・期末)	基礎的・応用的な内容の確認	基礎的・応用的な内容の確認	「知識・技能」「思考・判断・表現」の観点の状況を踏まえた評価	
夏休み	既習事項の確認	日本の諸地域まとめレポート中間報告	日本の諸地域まとめレポート中間報告	日本の諸地域まとめレポート中間報告	
後期	課業期間	1.日本の諸地域 東北	・テスト直しレポート ・話し合い活動への参画	・授業内レポート ・話し合い活動への参画	・振り返りシート ・単元レポート
		2.日本の諸地域 北海道			
		3.日本の諸地域まとめ			
		4.近世の日本と世界			
		5.日本の近代化と国際社会			
	定期テスト(中間・期末)	基礎的・応用的な内容の確認	基礎的・応用的な内容の確認	「知識・技能」「思考・判断・表現」の観点の状況を踏まえた評価	
冬休み	既習事項の確認	なし	なし	なし	

横断的学習(主なもの):

- ・世界の諸地域の文化→外国語、美術
- ・世界各地と日本の時差→数学
- ・世界各地と日本の自然環境・生活や文化→理科、家庭科、技術、美術

授業前の取り組み(ベル学習):

- ・前回の授業の内容を復習する(問題集やタブレット/パソコンを活用する)
- ・振り返りシート、ワーク等に取り組む、

家庭での学習への取り組み方について

- ・授業内容について保護者や家族に話し、対話を通して復習したり、発展的に考えたりする
- ・社会科に関連するニュースにふれる(TV、WEB、新聞など)
- ・教科書の音読、黙読
- ・問題集を解く
- ・教育系WEBページを活用した自主的な学習(ドリル形式のものや動画視聴など)

2025年度・第2学年 数学科 年間指導計画及び評価計画

指導教諭：森 隆一

教科の到達目標	<p>(1) 正の数と負の数、文字を用いた式と一元一次方程式、平面図形と空間図形、比例と反比例、データの分布と確率などについての基礎的な概念や原理・法則などを理解するとともに、事象を数理的に捉えたり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 数の範囲を拡張し、数の性質や計算について考察したり、文字を用いて数量の関係や法則などを考察したりする力、図形の構成要素や構成の仕方に着目し、図形の性質や関係を直観的に捉え論理的に考察する力、数量の変化や対応に着目して関数関係を見だし、その特徴を表、式、グラフなどで考察する力、データの分布に着目し、その傾向を読み取り批判的に考察して判断したり、不確定な事象の起こりやすさについて考察したりする力を養う。</p> <p>(3) 数学的活動の楽しさや数学のよさに気付いて粘り強く考え、数学を生活や学習に生かそうとする態度、問題解決の過程を振り返って検討しようとする態度、多面的に捉え考えようとする態度を養う。</p>
----------------	--

学期	期間	単元計画 ※課業期間は学習順	各観点の評価計画		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に 学習に取り組む態度
前期	課業期間	1.式の計算	発言内容 提出物 単元テスト 小テスト	発言内容 提出物 単元テスト 小テスト	提出物 単元レポート 振り返り
		2.連立方程式			
		3.一次関数			
	定期テスト(中間・期末)	基礎的・応用的な内容の確認	基礎的・応用的な内容の確認	なし	
夏休み	既習事項の確認	ワーク レポート	ワーク	ワーク レポート	
後期	課業期間	1.図形の性質の調べ方	発言内容 提出物 単元テスト 単元レポート 小テスト	発言内容 提出物 単元テスト 単元レポート 小テスト	提出物 単元レポート 振り返り
		2.三角形、四角形			
		3.確率			
		4.データの比較			
	定期テスト(中間・期末)	基礎的・応用的な内容の確認	基礎的・応用的な内容の確認	なし	
冬休み	既習事項の確認	ワーク レポート	レポート	ワーク レポート	

横断的学習(主なもの):

理科:1次関数を使って、水の沸騰の時間の関係を考える。総合的な学習:三角形・四角形の図形の証明における、筋道を立てて、わかりやすく伝える手法の習得。技術・割合を使って、家庭科:食品の分量の求める。

授業前の取り組み(ベル学習):

既習事項を確認するプリント(5~10分)に取り組む

家庭での学習への取り組み方について

- ノート:授業があった日に、ノートを見直す。とくに、言葉の意味やポイントをよく理解すること。
- 弱点克服:できなかった問題があれば解きなおす。3回解きなおす。
1回目 わからなければ解答をみながら 2回目 何も見ずに、つまったら解答をチラ見をする
3回目 何もみずに、がんばる!!
- 教科書・問題集の活用:教科書の問・問題集を解く。
- 授業での確認 ①ベル学習で再確認 → ②前時の振り返りやテストなどで確認。
「わかった」と「実際にできる」とは違います。「実際にできる」ためには、まずやってみること。そこでの手応えでその後の作戦が変わってきます。

2025年度・第2学年 理科科 年間指導計画及び評価計画

指導教諭：澤田 博司

教科の到達目標	自然の事物・現象に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことなどを通して、自然の事物・現象を科学的に探究するために必要な資質・能力を次の通り育成することを目指す。 (1)自然の事物・現象についての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に着けるようにする。 (2)観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。 (3)自然の事物・現象に進んで関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。
---------	--

学期	期間	単元計画 ※授業期間は学習順	各観点の評価計画		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
前期	授業期間	1.力の世界	・実験器具の取り扱い方 ・班活動への取り組み ・単元のまとめプリントの記述内容 ・小テスト ・レポート	・実験器具の取り扱い方 ・班活動への取り組み ・単元のまとめプリントの記述内容 ・小テスト ・レポート	・班活動への取り組み ・提出物の完成度 ・レポート
		2.大地の変化			
		3.化学変化と原子分子			
		4.生物の体のつくりとはたらき			
	定期テスト(中間・期末)	基礎的・応用的な内容の確認	基礎的・応用的な内容の確認	「知識・技能」、「思考・判断・表現」の観点の状況を踏まえた評価	
夏休み	既習事項の確認	課題等提出物	課題等提出物	課題等提出物	
後期	授業期間	1.生物の体のつくりとはたらき	・実験器具の取り扱い方 ・班活動への取り組み ・単元のまとめプリントの記述内容 ・小テスト ・レポート	・実験器具の取り扱い方 ・班活動への取り組み ・単元のまとめプリントの記述内容 ・小テスト ・レポート	・班活動への取り組み ・提出物の完成度 ・レポート
		2.天気とその変化			
		3.電気の世界			
		定期テスト(中間・期末)			
	冬休み	既習事項の確認	なし	なし	なし

横断的学習(主なもの):
 国語(命題・論理的な文章)、社会(エネルギー政策、科学史と文化)、数学(比例反比例・1次方程式)、音楽()、美術()、保健体育(人体と健康、食生活)、技術家庭科(調理、洗濯、電気)、道徳(環境保全、SDGs、生命)、総合的な学習の時間(地域防災)

授業前の取り組み(ベル学習):
 ○前回の授業の内容を確認・復習します
 ○授業の準備(教材等を机上に)
 ○理科便覧を見ながら学習する

家庭での学習への取り組み方について
 ・理科の家庭学習については復習中心で行いましょう。ワークや単元末問題は、1度解いて終わらせず、繰り返し取り組むと効果が出ます。
 ①ノート等に要点を書きだしたり、興味や関心があったりしたことを記入しまとめていきます。
 ②必要なことは覚え、完全に理解できるようにしましょう。
 ③問題集に取り組みます。解答は問題集へ直接記入せず、なるべく専用のノートを準備してそれに書き込みましょう。
 ④○付けを間違えたり分からなかったところがあれば、授業資料または教科書等を見て再確認をしましょう。
 ⑤実験がある前日は、教科書やワークシートを見て、実験内容や操作・観察のポイントを確認しておきましょう。

2025年度・第2学年 英語科 年間指導計画及び評価計画

指導教諭：西郷 麻子

教科の到達目標	<p>(1) 外国語の音声や語彙, 表現, 文法, 言語の働きなどを理解するとともに, これらの知識を, 聞くこと, 読むこと, 話すこと, 書くことによる実際のコミュニケーションにおいて活用できる技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) コミュニケーションを行う目的や場面, 状況などに応じて, 日常的な話題や社会的な話題について, 外国語で簡単な情報や考えなどを理解したり, これらを活用して表現したり伝え合ったりすることができる力を養う。</p> <p>(3) 外国語の背景にある文化に対する理解を深め, 聞き手, 読み手, 話し手, 書き手に配慮しながら, 主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。</p>
---------	---

学期	期間	単元計画 ※課業期間は学習順	各観点の評価計画		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に 学習に取り組む態度
前期	課業期間	1.1年生の復習	・CAテストの取り組み ・小テスト(リスニング含) ・コミュニケーション活動における会話や記述 [知識] 音声・語彙・表現・文法・言語の働きを理解する [技能] 実際のコミュニケーションの場面で活用する	・CAテストの取り組み ・コミュニケーション活動における会話や記述 学んだことを生かして, 目的や場面・状況に応じて, ・必要な情報を捉える ・事実や自分の考え, 気持ちを表現し, 伝え合う	・CAテストの取り組み ・単元の振り返り ・コミュニケーション活動への取り組み方 相手のことを考えて「読む」「聞く」「話す」「書く」活動に取り組もうとしている
		2.be going toとwill			
		3.5つの文構造			
		4.接続詞			
		5.依頼・許可			
		6.不定詞			
	定期テスト(中間・期末)	基礎的・応用的な内容の確認	基礎的・応用的な内容の確認	定期テストの振り返り	
夏休み	既習事項の確認	なし	なし	なし	
後期	課業期間	1.不定詞	・CAテストの取り組み ・小テスト(リスニング含) ・コミュニケーション活動における会話や記述 [知識] 音声・語彙・表現・文法・言語の働きを理解する [技能] 実際のコミュニケーションの場面で活用する	・CAテストの取り組み ・コミュニケーション活動における会話や記述 学んだことを生かして, 目的や場面・状況に応じて, ・必要な情報を捉える ・事実や自分の考え, 気持ちを表現し, 伝え合う	・CAテストの取り組み ・単元の振り返り ・コミュニケーション活動への取り組み方 相手のことを考えて「読む」「聞く」「話す」「書く」活動に取り組もうとしている
		2.must と have to			
		3.動名詞			
		4.比較表現			
		5.受け身			
		定期テスト(中間・期末)			
	冬休み	既習事項の確認	なし	なし	なし

横断的学習(主なもの):
ロボット(技術)SDGs(社会)

授業前の取り組み(ベル学習):
 ・学習した部分のワークの問題に取り組む
 ・学習した部分の音読に取り組む

家庭での学習への取り組み方について

- 学習した内容の音読(すでに学習していて, 内容が分かるものを選んで音読しましょう。1年生の教科書も活用してください。教科書のQRコードを使用すると音声を確認しながら学習できます。)
- 授業内容の復習(教科書・スライド・ワークを使って復習してください。その日の授業内容を誰かに説明するつもりで学習すると定着します。)

☆家庭学習は復習に力を入れて取り組みましょう。

2025年度・第2学年 音楽科 年間指導計画及び評価計画

指導教諭：五十嵐 冬馬

教科の到達目標	表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と豊かに関わる資質・能力を次の通り育成することを目指す。 (1)曲想と音楽の構造や背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けるようにする。 (2)曲にふさわしい表現を創意工夫することや、音楽のよさや美しさを味わって聴くことができるようにする。 (3)主体的・協働的に学習に取り組み、音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽文化に親しむとともに、感性を磨き、音楽に親しんでいく態度を養う。
---------	---

学期	期間	単元計画 ※課業期間は学習順	各観点の評価計画		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に 学習に取り組む態度
前期	課業期間	1.交響曲「運命」【鑑賞】	・ 創意工夫した音楽表現をするための技能を身につけているか実技観察 ・ ワークシート ・ 実技テスト ・ 小(単元)テスト	・ 作品を感じ取り、表現するための工夫をしているか記述観察(問答含め) ・ ワークシート ・ 小(単元)テスト ・ 振り替えりシート	・ 作品とどう向き合っているか実技・記述観察(問答含め) ・ ワークシート ・ 振り返りシート
		2.イメージを言葉にしよう【歌唱】			
		3.生きた音を味わおう【鑑賞】			
		4.各パートの役割を理解しよう【歌唱】			
		5.歌のスキルを磨こう【歌唱】			
	定期テスト(中間・期末)	実施しません	実施しません	実施しません	
	夏休み	既習事項の確認	なし	なし	なし
後期	課業期間	1.サミングを使おう【器楽】	・ 創意工夫した音楽表現をするための技能を身につけているか実技観察 ・ ワークシート ・ 実技テスト ・ 小(単元)テスト	・ 作品を感じ取り、表現するための工夫をしているか記述観察(問答含め) ・ ワークシート ・ 小(単元)テスト ・ 振り替えりシート	・ 作品とどう向き合っているか実技・記述観察(問答含め) ・ ワークシート ・ 振り返りシート
		2.日本の伝統芸能に親しもう【鑑賞】			
		3.箏に触れてみよう【器楽】			
		4.リズムを組み合わせよう【創作】			
		5.音を重ねてみよう【器楽】			
	定期テスト(中間・期末)	実施しません	実施しません	実施しません	
	冬休み	既習事項の確認	なし	なし	なし

横断的学習(主なもの):

- ・ 国語(日本語の歌詞による音楽の特徴) ・ 社会(作曲された時代と歴史的背景)
- ・ 保健体育(歌・楽器を演奏するときの体の使い方とスポーツをするときの体の使い方の違い)
- ・ 美術(絵からインスピレーションを得て生まれた音楽)

授業前の取り組み(ベル学習):

- ・ 前回の振り返りからその日に取り組む課題の確認
- ・ 振り返りシートに今日の目標記入
- ・ リコーダー準備・練習

家庭での学習への取り組み方について

- ・ 授業で学んだ技能・知識の復習をする。(特に技能は成績の割合が大きいです)
- ・ 家族の前で歌う・演奏する。(人前で演奏することはとても力になります)
- ・ 日常的な音楽や音を見つける(テレビ・映画などで学習した曲は流れてないか、日常にはどんな音が鳴っているか)
- ・ 5分でもいいので曲を聴くだけの時間を作ってみる。(視覚からの情報に頼るのではなく、耳からのみの情報を得る)
- ・ 世代の違う家族(父母・祖父母など)に流行っていた曲を教えてもらう。(今流行っている曲を教える)

2025年度・第2学年 美術科 年間指導計画及び評価計画

指導教諭：高橋 沙希

教科の到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・美しいものにあこがれを持ち、前向きに制作に取り組む。 ・作品や文化財を大切にすることを育てる。 ・道具や用具を大切に扱いケガなく安全に制作する心を育てる。 ・時間を守り最後までやり遂げる心を育てる。 ・自分や友達の作品の良さを認め合い、他者と協力して作品を作りあげる心を育てる。
---------	--

学期	期間	単元計画 ※課業期間は学習順	各観点の評価計画		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に 学習に取り組む態度
前期	課業期間	1. ヒット商品の謎を解け	・粘土による立体のとらえ方と丁寧さ ・着色の技能	・学年の良さや課題を伝えるキャラクターのアイデア	・作品の完成度 ・ワークシートの完成度 ・振り返りシート ・作品の取り組み方
		2. 見守って! 私たちのキャラクター			
		定期テスト(中間・期末)	実施しません	実施しません	実施しません
	夏休み	既習事項の確認	なし	なし	なし
後期	課業期間	1. 挑戦! 使いやすい形を求めて	・描画材による丁寧な着色 ・彫刻の技能	・たくさんのイメージ発想 ・機能性を考えたデザインの追求	・ワークシートの完成度 ・作品の取り組み方 ・作品の完成度 ・振り返りシート
		2. 墨で表現する楽しさ			
		3. ミュージックイメージ			
		定期テスト(中間・期末)	実施しません	実施しません	実施しません
	冬休み	既習事項の確認	なし	なし	なし

横断的学習(主なもの):
 木材の性質と木材加工(技術科)
 ユニバーサルデザイン(各教科)
 音と音色(音楽科)

授業前の取り組み(ベル学習):
 ・学習カードの記入
 ・アイデアスケッチを進める

家庭での学習への取り組み方について
 ・日常生活における美しい形・色彩・光などの効果を感じられる心を持たせる。

2025年度・第2学年 技術科 年間指導計画及び評価計画

指導教諭：島田 直也

教科の到達目標	(1)電気などのエネルギーの特性・原理・法則について理解する。 (2)問題を見出して課題を設定し、電気回路を計画し、具体化できる。 (3)動力伝達の仕組み、必要性について理解する。 (4)問題を見出し課題を設定し、電気回路を計画し、具体化できる。 (5)生物育成の技術についての科学的な原理・法則について理解する。 (6)課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、表現できる。
---------	---

学期	期間	単元計画 ※課業期間は学習順	各観点の評価計画		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に 学習に取り組む態度
前期	課業期間	1.エネルギー変換の技術①	単元テスト テーブルタップ 電気回路の製作 工具等の使い方	工具等の使い方 レポート 電気回路の製作 学習カード 作業方法・手順	単元テスト レポート 工具の使い方 学習カード 作業方法・手順
		2.テーブルタップの製作			
		3.電気回路の設計・学習			
	定期テスト(中間・期末)	実施しません	実施しません	実施しません	
夏休み	既習事項の確認	なし	なし	なし	
後期	課業期間	1.課題を解決するための製作	単元テスト 電気回路の製作 動力伝達作品 生物の育成 工具等の使い方	工具等の使い方 レポート ワークシート 電気回路の製作 動力伝達作品 学習カード 作業方法・手順	単元テスト レポート 工具の使い方 学習カード 作業方法・手順
		2.生物育成の技術			
		3.動力伝達			
	定期テスト(中間・期末)	実施しません	実施しません	実施しません	
冬休み	既習事項の確認	なし	なし	なし	

横断的学習(主なもの):

2年理科(電気)

授業前の取り組み(ベル学習):

3分前には授業準備をしておく。(教材等を含む)

家庭での学習への取り組み方について

学校で学んだことを保護者などに話す(アウトプット)

学校で学んだことと家庭生活とのつながりを確認する。

2025年度・第2学年 家庭科 年間指導計画及び評価計画

指導教諭：外崎 愛莉

教科の到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・生活の中で食事が果たす役割、必要な栄養の種類や働き特徴やよい食習慣について理解する。 ・問題を見出し、よりよい食習慣や1日分の献立について工夫する。 ・用途に応じた食品の選択や調理方法を理解し選択する。 ・食品や調理器具などの安全と衛生に留意した管理が理解し、できる。 ・家族の互いの立場や役割、高齢者など地域の人々と協働の必要性、介護などについて理解する。 ・家族、地域の人々とのよりよいかかわり方を工夫する。
---------	--

学期	期間	単元計画 ※課業期間は学習順	各観点の評価計画			
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に 学習に取り組む態度	
前期	課業期間	1. 私たちの食生活	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシート ・単元テスト ・献立作成レポート 	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシート ・献立作成レポート 	<ul style="list-style-type: none"> ・単元テスト ・授業の振り返り 	
		定期テスト(中間・期末)	実施しません	実施しません	実施しません	
		夏休み	既習事項の確認	・夏バテ対策の食事を 作ってみましょう	・夏バテ防止の食事を 作ってみよう	・提出物
			1. 私たちの成長と家族	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシート ・道具等の使い方 	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシート ・実習計画 	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシート ・授業の振り返り
			2. 調理実習	<ul style="list-style-type: none"> ・単元テスト ・実習計画 	<ul style="list-style-type: none"> ・実習レポート 	<ul style="list-style-type: none"> ・実習レポート ・実習振り返り
	定期テスト(中間・期末)	実施しません	実施しません	実施しません		
後期	冬休み	既習事項の確認	なし	なし	なし	

横断的学習(主なもの)：

「食生活と栄養」「献立作りと食品の選択」⇒理科「生命を維持する仕組み」
 保健体育「食生活と健康」
 技術「生物育成の技術」
 「幼児の生活と家族」⇒保健体育「体の発育・発達」

授業前の取り組み(ベル学習)：

・授業の道具を準備しておく。

家庭での学習への取り組み方について

・授業で作った料理など、家族にも作ってみる。
 ・授業で学んだことを、日常生活で実践する。

2025年度・第2学年 保健体育科 年間指導計画及び評価計画

指導教諭：秋本 翔平

教科の到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・運動の合理的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを味わい、運動を豊かに実践することができるようにするため、運動、体力の必要性について理解するとともに、基本的な技能を身に付けるようにする。 ・運動についての自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。 ・運動における競争や共同の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の役割を果たす、一人一人の違いを認めようとするなどの意欲を育てるとともに、健康・安全に留意し、自己の最善を尽くして運動する態度を養う。
---------	---

学期	期間	単元計画 ※課業期間は学習順	各観点の評価計画		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に 学習に取り組む態度
前期	課業期間	1.体づくり運動	【知識】 ・学習カードの記載内容 ・保健ワークシート ・単元テスト 【技能】 ・体ほぐし・体の動きを高める運動の行い方 ・跳び箱のフォーム ・平泳ぎのフォーム ・幅跳びのフォーム	・学習カードの記載内容 ・保健ワークシート ・単元テスト ・課題解決のための取り組み方 ・班やグループでの話し合い方	・学習カードの記載内容 ・保健ワークシート ・課題解決のための取り組み方 ・班やグループでの話し合い方 ・健康、安全の留意の仕方
		2.器械運動(跳び箱運動)			
		3.水泳			
		4.陸上競技(走り幅跳び)			
		5.保健			
		6.体育理論			
	定期テスト(中間・期末)	実施しません	実施しません	実施しません	
夏休み	既習事項の確認	なし	なし	なし	
後期	課業期間	1.球技(バスケットボール)	【知識】 ・学習カードの記載内容 ・保健ワークシート ・単元テスト 【技能】 ・ボールや用具の操作、空間を使う動き方 ・ペースを維持した走り方 ・体のさばき方や竹刀の使い方	・学習カードの記載内容 ・保健ワークシート ・単元テスト ・課題解決のための取り組み方 ・班やグループでの話し合い方	・学習カードの記載内容 ・保健ワークシート ・課題解決のための取り組み方 ・班やグループでの話し合い方 ・健康、安全の留意の仕方
		2.ダンス			
		3.陸上競技(長距離走)			
		4.球技(バドミントン)			
		5.武道(剣道)			
		6.保健			
	7.体育理論				
定期テスト(中間・期末)	実施しません	実施しません	実施しません		
冬休み	既習事項の確認	なし	なし	なし	

横断的学習(主なもの):

- 理科:地震の仕組み
- 家庭科:栄養について

授業前の取り組み(ベル学習):

- ・整列
- ・用具の準備
- ・準備運動

家庭での学習への取り組み方について

- ・自ら運動する時間を確保する。
- ・運動に親しむ場を家族で共有する。